

チェアカバープロジェクトとリラックスコーナー設置、 教員による学校図書館の利活用の推進、読書啓発

愛知県 愛知県立杏和高等学校

基本データ

所在地	稲沢市祖父江町二俣宮西 1番1
児童生徒数	714人
教職員数	59人
蔵書数	16,646冊
年間貸出冊数	426冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】居場所としての機能充実、読書啓発・指導、授業改善、教員による利活用の推進

【活動のねらい】

- 居心地のよい環境整備による図書館利用者の増加と図書委員の役割明示や分担による図書館活動の充実
- 授業等で積極的に図書館を活用することで、図書館の資料センターとしての機能を充実するとともに、今まで図書館に足を向けていなかった生徒の図書館や読書に対する興味・関心を高めること
- 以前から取り組んでいる読書週間の取組を、各クラス内で行うビブリオバトルの準備として位置付け、学校内の活動を有機的につなげることで、生徒の読書時間を確保し、読書習慣を確立すること

取組・活動の概要

(1) チェアカバープロジェクトとリラックスコーナー設置

- 古くなった図書館の椅子をリニューアルするため、図書委員が中心となり、チェアカバーと座席のクッションを2年がかりで製作した。
- 手づくり感いっぱいのパステル色の椅子が並び、図書館に明るく穏やかな雰囲気をつくることのできた。



完成したチェアカバー

- 教職員等から譲り受けた物品を利用して、校内に快適な居場所を作り、生徒が心身を休めるリラックスコーナーを図書館に設置した。
- 家庭科の専門科目「子どもの発達と保育」の授業でこのコーナーを活用、読み聞かせを展開するなど、想定を超えた利用につながっている。



リラックスコーナー設置

(2) 教員による学校図書館の利活用の推進

- ここ数年、ふだんの授業でも各教科が意識的に図書館を活用している。国語科はもちろん、数学科、地歴公民科などが利用している。
- 本校図書館のテーブルは6人が向かい合う形で座るため、アクティブ・ラーニング型の授業展開が取りやすいと好評である。
- 授業で使いたい本で本校の図書館にないものは、積極的に公共図書館と連携して借り受けている。
- 近くに市立図書館があり、比較的新しい本や、同一図書を大量に使用したいときなどに、気軽に利用している。また愛知県図書館からも定期的に本を借り受けている。

(3) 読書啓発～ビブリオバトルの充実～

- 本校では年2回の読書週間を設け、期間中に朝の読書活動を実施しているが、最近、単調化してきたため、2019年度は5年前から実施しているビブリオバトルとのコラボレーションに挑戦した。



読書啓発～ビブリオバトルの充実～

- 読書週間を終えたところで、クラスごとにビブリオバトルを実施することにし、多くの生徒が、読書週間中に読んだ本のプレゼンテーションを行った。
- さらに各クラスのチャンピオンが、その後開催される全校でのビブリオバトルに参加することとした。
- また、学校祭で行ったビブリオバトルには、教員も参加し、学校全体で盛り上げている。

取組・活動の工夫や特徴

(1) チェアカバープロジェクトとリラックコーナー設置

- お金をかけずに、生徒たちに活躍させる。

(2) 教員による学校図書館の利活用の推進

- 多くの教員に呼びかけ、図書館の利用を促している。
- プロジェクトなども常設できるようにし、ICT機器を活用した授業にも対応できるようにしている。

(3) 読書啓発～ビブリオバトルの充実～

- クラス代表というプライドを上手に創出させるように工夫した。

取組・活動の成果や今後の展望

(1) チェアカバープロジェクトとリラックコーナー設置

- リラックスコーナーを使った、床に座っての「子どもの発達と保育」での読み聞かせ授業は、将来保育士を目指す生徒たちに特に好評である。

(2) 教員による学校図書館の利活用の推進

- 図書館への教員の出入りが多くなった。



教員による学校図書館の利活用の推進 近隣の公共図書館「祖父江の森図書館」にて、団体貸し出し制度を使って、用途にあったものを数十冊借り受けた

(3) 読書啓発～ビブリオバトルの充実～

- 各クラスで代表に選ばれた生徒たちのプレゼンテーションを通じた読書への興味・関心の高まりについて、来館者数や貸出冊数の調査により把握していく予定である。